

議会だより

あ い か わ

第 117 号

責任者 議会議長 中山民子
年 4 回発行・本号18ページ



色彩豊かな中央広場（県立あいかわ公園）

平成20年度予算を可決
一般会計は、129億300万円（前年度比2%増）

P 2

「愛川町後期高齢者医療に関する条例」を制定

P 4

施政方針を問う、会派代表質問を実施

P 12

平成20年 5 月15日

＜ 3 月定例会 ＞

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

平成 20 年第 1 回愛川町議会「3 月定例会」は、3 月 3 日から 3 月 28 日まで
の会期 26 日間、(本会議開催日 5 日間) にわたり開かれました。

この定例会では、条例の新設・改正をはじめ、新年度予算や補正予算、事
件議案では、町道路線の廃止・認定、合計で 28 件の町長提出議案を可決しま
した。

また、議員提出議案として、「農業委員会委員の解任請求」1 件を提出し、
可決しました。

本号では、これら「3 月定例会」の内容を中心にお知らせいたします。

総額227億8千300万円

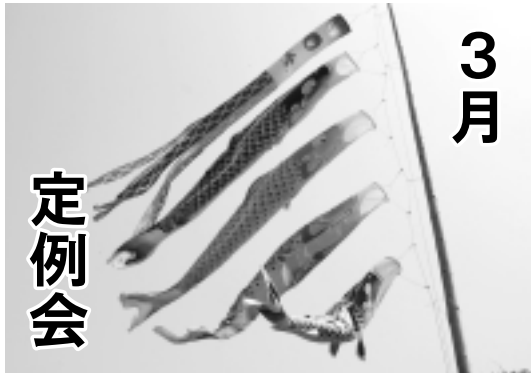
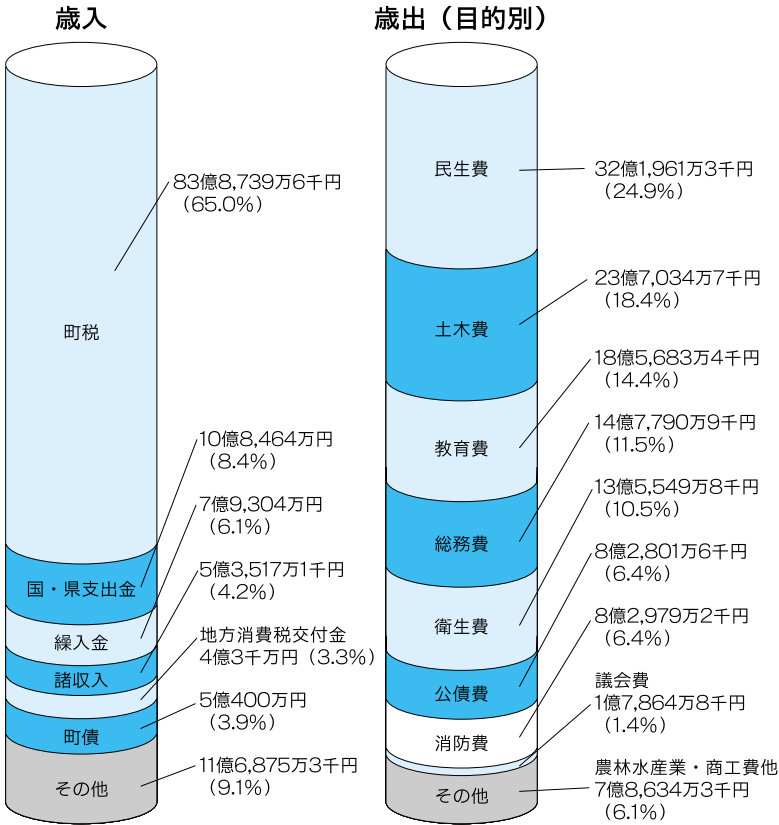
平成20年度当初予算決まる

- 一般会計予算
- 国民健康保険特別会計予
算
- (以上賛成15人・反対2人)
- 後期高齢者医療特別会計
予算
- (賛成14人・反対3人)
- 老人保健特別会計予算
- 介護保険特別会計予算
- 下水道事業特別会計予算
- 水道事業会計予算
- (以上賛成全員)

各合計予算額

会計名	予算額	構成比	前年度比
一般会計	129億 300万円	56.6%	2.0%
特別会計			
国民健康保険	48億4,600万円	21.3%	8.3%
後期高齢者医療	2億5,600万円	1.1%	皆 増
老人保健	2億4,500万円	1.1%	△87.9%
介護保険	15億2,500万円	6.7%	10.9%
下水道事業	21億2,500万円	9.3%	29.4%
小 計	89億9,700万円	39.5%	△5.4%
企業会計			
水道事業	8億8,300万円	3.9%	△5.3%
合 計	227億8,300万円	100.0%	△1.3%

一般会計予算の構成



平成20年第 1 回定例会日程

月	日	曜	会 議 名	主 な 内 容
3	3	月	本 会 議	提出議案の説明
4	4	火	本 会 議	一般質問 (6人)
5	5	水	本 会 議	一般質問 (5人)
12	12	水	本 会 議	補正予算、事件関係議案の総括 質疑から採決、施政方針及び新 年度予算に対する会派代表質問、 委員会分割付託の決定
13	13	木	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託事件の審査
14	14	金	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託事件の審査
17	17	月	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託事件の審査
18	18	火	総務建設常任委員会	付託事件の審査
25	25	火	本 会 議	付託事件の審査結果及び委員長 報告、質疑・討論・採決、議員提出 議案、質疑・討論・採決、

各常任委員会での質疑要旨

総務建設常任委員会

問 町内循環バスの乗車料金を100円と設定した理由について

答 今回の再編については、これまでバスの利用が困難であった地域や、新たに建設される(仮称)愛川病院を通るルートを運行することなど、多くの方が生活路線として利用されるものと考えています。このため、金額的にも気軽に利用でき、わかりやすい料金設定をすることで、継続的に利用していただけるようにワンコインの100円に統一した

料金としたものです。

問 コンビニ収納による収納額、利用件数の見込みについて

答 平成18年度決算額をベースに対象収納額を算出すると、27億4,886万円となり、このうち、コンビニ収納の利用率を5%とする、1億3,740万円、利用率10%で2億7,488万円の収納額となり、利用件数については、普通徴収の町県民税と固定資産税が4期、軽自動車税が1期で納付することになっているので、利用率が5%で3,569件、利用率が10%では7,

138件の利用件数です。
問 洪水ハザードマップの作成について

答 国・県が洪水による浸水が想定される区域を指定し、浸水区域の水深を公表して、市町村長に通知することとされ、該当市町村は、ハザードマップを作成し、住民に公表することが義務付けられ、具体的には、洪水氾濫による浸水危険区域及び、その程度、避難場所、避難経路、災害時の心得等について具体的に図面に表示するものです。

問 畜産環境改善推進事業費、微生物消臭剤購入費補助について

答 本町には、酪農家11戸・養豚農家1戸・養鶏農家15戸の方々が畜産業を営まされており、町内全域で、27戸の畜産農家が愛川町畜産会を組織し、町畜産会全員の方が補助の対象者です。微生物消臭剤活用の効能と効果は、すでに養鶏場内において実証試験を実施しています。

問 工芸工房村完成に向けた町の対応について

答 工芸工房村は、県が直接運営するのではなく、指

定管理者で運営されることになると思慮されますが、現時点では、どのような団体、機関になるのかは未定で、県やあいかわ公園の指定管理者である「宮ヶ瀬ダム周辺振興財団」等と協議し、来園者が利用しやすい施設運営に努めます。

教育民生常任委員会

問 町内のバス停留所及び最終目標の計画について

答 町内のバス停の箇所は、現在、140箇所あり、このうち、上屋が設置されているのは、18箇所です。最終目標の計画については、バス停留所の利用者数や上屋設置の必要性などについて、神奈川中央交通(株)と協議・検討を進め、今後のバス停留所上屋の整備に努めます。

問 障害者福祉的就労協力事業所奨励事業について

答 障害者の就労に熱意と理解がある民間事業所が、ハローワークの許可を得て最低賃金を下回る障害者雇用を行う場合を対象としています。将来的に一般就労への可能性を拡大することを目的として、雇用を行っ



第1号公園プール改修工事予定箇所を調査
(教育民生常任委員会)

ていただけの事業所に対し、1人の障害者あたり1カ月3万円の奨励金を交付するものです。
問 本年10月より小学4年生まで拡大される小児医療費助成事業の対象者数について

答 平成19年10月1日では、0歳児から就学前までの児童が2,198人であり、新たに拡大する分として、小学1年生が413人、2年生が450人、3年生が427人、4年生が405人で合計、1,695人が増加し、0歳児から就学前までの対象児童数と合わせると、3,893人です。
問 ブックスタート事業の内容について

答 生後4カ月の健診時に絵本等を無料配布します。対象は、平成20年4月以降に生まれた子どもを持つ保護者とし、一人に対して、絵本2冊とイラストアドバース集、図書館利用案内・図書館利用者カード申込書やその他の啓発資料等とそれらを入れるコトトンバックを配布します。



三増102号線法面工事の調査
(総務建設常任委員会)

新設条例

◎愛川町後期高齢者医療に関する条例の制定

(賛成14人・反対3人)

ポイントⅡ後期高齢者医療制度の創設に伴い、普通徴収の方法によって、徴収する保険料の納期等については、高齢者の医療の確保に関する法律第一〇九条の規定により、市町村の条例で定めることとされていることから、本条例を新たに制定するものです。

施行期日は平成20年4月1日。

主な改正条例

◎愛川町長等常勤の特別職給与に関する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ給料月額額の減額であり、町長においては平成20年4月1日から同年5月31日まで給料月額額の10分の1を減額。また、副町長及び収入役については、平成20年4月1日から同年4月30日まで給料月額額の10分の1を減額するものです。

施行期日は平成20年4月1日。

◎愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ地方公務員の育児休業等に関する法律が改正され、育児と仕事の両立が可能となるように、育児のための短時間勤務制度が導入されたため、関係条例に所要の改正を行うものです。

施行期日は平成20年4月1日。

◎愛川町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(賛成15人・反対2人)

ポイントⅡ農業生産嘱託員制度について、社会経済情勢の変化等に伴い、その業務が年々減少し、既に使命を果たしたといえる状況にあるため、平成19年度をもって本制度を廃止することになったことから、本条例から農業生産嘱託員を削除するものです。

施行期日は平成20年4月1日。

◎愛川町在宅障害者福祉手当条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ精神障害者に関する福祉施策の一層の充実を図るため、福祉手当の支給対象を精神障害者保健福祉手帳等級3級までに拡大し、また、1級の方の福祉手当支給額を左表のとおり増額するものです。

施行期日は平成20年4月1日。

在宅障害者福祉手当

区 分	改正前 (年額)	改正後 (年額)
精神障害者保健福祉手帳等級 1 級	20,000円	35,000円
同 2 級	20,000円	20,000円
同 3 級	—	7,000円

◎愛川町国民健康保険税条例の一部改正

(賛成15人・反対2人)

ポイントⅡ健康保険法等の一部改正に伴い、国民健康保険税に後期高齢者医療制度創設のための整備を行うとともに、国民健康保険税の資産割額を廃止し、併せて平成20年度の国民健康保険税額を見直すものです。

施行期日は平成20年4月1日。

◎愛川町国民健康保険条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ健康保険法等の一部改正に伴い、本条例で引用している「老人保健法」の題名が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改められたことから、所要の条文の整理を行うものです。

施行期日は平成20年4月1日。

◎愛川町重度障害者医療費支給条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ後期高齢者医療制度の創設に伴い、重度障害者医療費の支給対象者として、後期高齢者医療の被保険者である重度障害者を加えるものです。

施行期日は平成20年4月1日。

◎愛川町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部改正により、平成19年の合計所得金額が125万円以下で、かつ、平成17年1月1日現在において65歳

以上であつた者については平成20年度も保険者の判断で激変緩和措置を行うことができることとなった。このため、平成18年一部改正条例の一部を改正し、平成20年度においても平成19年度と同様の激変緩和措置を継続して講ずるものです。

施行期日は平成20年4月1日。

◎愛川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ市町村が一般廃棄物処理施設の処理能力などを変更する場合、県知事に届出をする前に、生活環境影響調査を実施し、市町村の条例で定めるところにより、その調査結果を公衆の縦覧に供し、また利害関係者には意見の提出の機会を与えるものとされていることから、本条例の一部を改正するものです。

施行期日は平成20年4月1日。

◎愛川町手数料条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ「地方公共団体の手数料の標準に関する政

令」の一部を改正する政令が、平成20年3月19日に公布、同年5月1日に施行となったため、本条例で引用している戸籍法の条項の移動について、所要の改正を行うものです。

施行期日は平成20年5月1日。

補正予算

◎平成19年度一般会計補正予算(第5号)

(賛成全員)

ポイントⅡ今回の補正は歳入歳出にそれぞれ8千155万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を135億4千36万1千円とするもので、主な補正額の内容は次頁の表のとおりです。

◎平成19年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

◎平成19年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

◎平成19年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)

◎平成19年度水道事業会計補正予算(第2号)

(以上、賛成全員)

◎町道路線の廃止・認定
道路法の規定により、一般交通の使用が無くなった路線や新たに、町道として管理する路線の起終点が変更となる場合に廃止・認定を行うものです。
(賛成全員)

事件議案

議員提出議案

◎愛川町農業委員会委員の解任請求について
(賛成15人・反対2人)

ポイント＝農業委員会等に関する法律第12条第2号による議会が推薦した農業委員会委員を、同法第17条の規定により、解任請求の議決をしたものです。

人事

◎人権擁護委員の推薦に係る意見
ポイント＝本年5月31日をもって任期満了となる同委員について、人権擁護委員法の規定により、次の方を適任と認めました。

愛川町田代在任
荻田允子氏

◎愛川町農業委員会委員の解任請求に伴う後任委員の推薦
3月25日本会議最終日において、農業委員会委員の解任請求に伴い、次の方を後任委員として推薦しました。
議会推薦 熊澤 俊治議員

一般会計補正予算（第5号）の内容

歳入

事業	金額(千円)	内 容
民生費国庫負担金	▲1,878	国民健康保険基盤安定負担金減額
民生費県負担金	3,909	国民健康保険基盤安定負担金増額
総務費県補助金	31,500	市町村振興補助金増額 42,100 地域づくり振興事業等補助金減額 ▲10,600
財産貸付収入	31,508	土地貸付収入増額
不動産売払収入	18,544	土地売払収入増額
民生費寄附金	1,000	社会福祉費寄附金増額
教育費寄附金	63	文化・スポーツ振興基金寄附金増額
郷土資料館建設基金繰入金	▲115,000	郷土資料館建設基金繰入金減額
繰越金	102,409	前年度繰越金増額
諸収入（雑入）	▲500	厚木愛甲環境施設組合給与費負担金収入減額
町債	民生債 ▲8,000 教育債 ▲40,000 臨時財政対策債 58,000	田代保育園アスベスト除去事業債減額 郷土資料館建設事業債減額 臨時財政対策債増額
合 計	81,555	

歳出

事業	金額(千円)	内 容
財産管理費	20,514	線下補償配分交付金増額
財政調整基金費	250,000	財政調整基金積立金増額
農業委員会委員選挙費	▲2,246	職員給与費減額 ▲1,294 農業委員会委員選挙経費減額 ▲952
町議会議員選挙費	▲2,306	職員給与費減額 ▲659 町議会議員選挙経費減額 ▲1,647
社会福祉総務費	5,355	国民健康保険特別会計繰出金増額 4,548 介護保険特別会計繰出金増額 807
ハートピア基金費	1,000	ハートピア基金積立金増額
保育所費	▲16,564	田代保育園アスベスト除去事業費減額 委託料 ▲2,800 工事請負費 ▲13,764
清掃総務費	▲2,650	厚木愛甲ごみ処理広域化推進事業費減額
道路新設改良費	0	
学校管理費	▲2,369	学校施設整備事業費減額
青少年育成費	▲6,019	放課後児童クラブ事業費減額
郷土資料館費	▲163,223	郷土資料館建設事業費減額 委託料 ▲6,343 工事請負費 ▲156,880
文化・スポーツ振興基金費	63	文化・スポーツ振興基金積立金増額
合 計	81,555	

請願・陳情のゆくえ

今回の定例会で結論（3月25日）の出た請願・陳情は次のとおりです。

(敬称略)

件 名	結 論	陳 情 者
「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情	不採択 (原案に賛成なし)	兵庫県西宮市分銅町1-4 日本熊森協会 会長 森山まり子

自治功労者表彰

平成20年2月13日、熊澤俊治前議長が、全国町村議会議長会会長より、自治功労者表彰を受賞されました。



熊澤俊治議員

全国町村議会議長会表彰

会派 議決一覧表

各会派賛否 ○…賛成、●…反対、△…退席

議案番号	会派名と所属議員 議案の件名	あいかわ (6人) 成瀬議員 林 議員 中山議員 鈴木議員 馬場議員 渡辺議員	愛 政 (4人) 小倉議員 熊澤議員 鳥羽議員 熊坂弘久議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共 産 (2人) 井上議員 小林議員	民主みらい (2人) 熊坂徹議員 近藤議員	公 明 (2人) 森川議員 井出議員	議決結果
議員提出 第 1 号	農業委員会委員の解任請求について	○	○	●	○	○	○	可決
町長提出 第 1 号	愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 2 号	愛川町職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 3 号	愛川町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第 4 号	愛川町在宅障害者福祉手当条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 5 号	愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第 6 号	愛川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 7 号	愛川町後期高齢者医療に関する条例の制定について	○	○	○	●	○●	○	可決
町長提出 第 8 号	愛川町重度障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 9 号	愛川町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 10 号	愛川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 11 号	平成19年度愛川町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 12 号	平成19年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 13 号	平成19年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 14 号	平成19年度愛川町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 15 号	平成19年度愛川町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 16 号	平成20年度愛川町一般会計予算	○	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第 17 号	平成20年度愛川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第 18 号	平成20年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	●	○●	○	可決
町長提出 第 19 号	平成20年度愛川町老人保健特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 20 号	平成20年度愛川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 21 号	平成20年度愛川町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 22 号	平成20年度愛川町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 23 号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 24 号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 25 号	愛川町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
陳 情 第 1 号	「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情	●	●	●	●	●	●	不採択

※陳情第1号は原案採決による賛否

一般質問



医療費助成制度に 精神障害者も



井上 博明議員

井上議員「町の単独事業として行っている中度障害者医療費助成制度の中に精神障害者も含めて、実施していただきたい。町長の考えを伺います。」

町単独に加え 県の動向にも期待

山田町長「自立支援法の施行で身体・知的・精神が一律の制度となりました。」

身体・知的と同様に精神障害者も県の方で早く、重度障害者医療制度を設けるよう強く、現在、要請をしています。県の検討結果を見て、町の単独での中度障害に精神を加えるかどうか、県の動向に期待しているところです。

緊急地震速報 防災無線で放送

井上議員「昨年9月議会一般質問で、防災行政無線を活用し、緊急地震速報を流すよう要請した。新年度に向けた取り組みを伺います。」

実施に向け 20年度予算に計上

山田町長「本町では、緊急地震速報の重要性に着目をし、町民への情報の伝達方法として、検討を行い、緊急地震速報は情報伝達に秒を争う迅速性が要求されます。こうしたことから、国が進めている全国瞬時警報システムの早期導入が望ましいと判断し、平成20年度当初予算に計上したところ。」

他の質問事項①国保税資産割課税②学校教育



ゆとり教育の評価 今後の義務教育



熊坂 弘久議員

熊坂弘久議員「教育問題はどの時代にも大変重要な問題である。学業だけではなく、規範意識を身に付けることが必要だが、これまでの「ゆとり教育」をどう評価し、本町の義務教育をどうされるのか伺います。」

特色ある教育展開 各方面の意見尊重

山田町長「自ら学び考える力を育成すること、個性を生かし、学校、地域が特色ある教育を展開していくことは評価する。いつの時代にも共通の部分と、その時代の社会に対応した教育がある。教育委員会、教員、保護者、地域の方々のご意見をお聞きし推進します。」

「町内循環バス」 運行見直し検討結果

熊坂弘久議員「町循環バスは多面的なニーズに応えなければならぬが、運行見直し検討会が町内各地で数回開催されました。そこで提案、検討、集約され、方向付け、決定されたことは何か伺います。」

アンケートを集約 利便性を考慮

山田町長「公共交通検討委

員会で検討、アンケート調査を行い、愛川方面は中型バス1台、中津方面はワンボックス車1台で2系統の運行、いずれも(仮称)愛川病院経由です。運行時間は、午前7時から午後7時、料金は、受益者負担の原則から、1回100円、運行回数は1日6便とし、路線バスへの連絡も十分考慮します。他の質問事項①商店街の活性化②住宅用火災報知器



20年10月から再編される「町内循環バス」

国保税の課税方式 世帯割廃止の検討



熊坂 徹議員

熊坂徹議員「町では、これまで国保税の資産割に対する課税が適切に行われてなく、平成20年度から資産割課税を廃止するとしましたが、さらに世帯割も廃止して、2方式にする考えはなかったのか伺います。

本町の実情を考慮 3方式適切と判断

山田町長「確かに、2方式の方が1人世帯の負担は軽減しますが、試算したところ、2人世帯以上は、逆に負担が増加し、本町の世帯当たりの被保険者数は、平均で1・98人であり、県平均の1・78人を上回っており、今後は、団塊世代が退職を迎え、加入者が増加し、



国保税の事務を行う
国保医療課＝役場新庁舎1階

2人以上の世帯が多い状況が続くことが予測されます。このため、本町の実情を考慮し、現時点においては、3方式が適切と判断しました。

「小規模多機能型介護施設」 どう整備する地域密着型

熊坂徹議員「介護が必要になっても、住みなれた地域で安心して暮らすためには、地域に密着した介護サービスの充実が不可欠です。小規模多機能型介護施設を将来のための布石として整備する必要があると考え

都市部へは進出 本町への参入も

山田町長「県下の整備状況は、平成20年1月1日現在、合計63件であり、横浜など要介護認定者数の多い都市部への進出が強くあらわれています。本町に新規参入を希望する事業者はまだありませんが、小規模多機能型居宅介護をはじめとする、地域密着型介護サービスへの意向を持つ事業者の新規参入を、引き続き積極的に促したいと考えます。他の質問事項なし

学校図書館の 整備について



渡辺 基議員

渡辺議員「本は、子ども達の人生に欠くことのできないものです。そこで、今後の図書整備についての考えを伺います。

予算1.5倍に増額 標準冊数を目指す

山田町長「本町の各小中学校においては、国の定める図書標準冊数に至っていませんが、新年度においては、図書整備費を昨年の1.5倍としました。今後は、計画的に図書標準冊数の達成を目指します。

町ホームページの充実を

渡辺議員「町HPの内容の充実とタイムリーに更新されているか、さらに「よくある質問コーナー」の開設についての考えを伺います。

20万件のアクセス 更新に向け作業中

小野澤総務課長「町HPは、年間20万件ものアクセスが

あり、多くの方に利用して頂いております。今回の見直しで掲載項目が約四倍に増える予定です。更新につきましても、各課で責任を持って取り組むよう指導を徹底していきます。さらに「よくある質問コーナー」の開設については、対応可能と考えています。他の質問事項①老人福祉センター



学校図書館（田代小学校）

山田町長「障害児サポーター講座を開催し、支援ボランティアの育成を図ったところでは、地域福祉を推進する中核的な団体である町の社会福祉協議会と協働して、今後とも多様なニーズを把握し、介護している家族が一時的な休息がとれるように負担軽減の対策を研究したいと考えます。」

家族の負担軽減策 社協と協働で研究

近藤議員「昨年の夏休みに社会福祉協議会がボランティアの方達のご協力を仰ぎ障害児のレスパイト事業を試験的に行いました。本格的な事業として、今後の考えを伺います。」

障害児レスパイト 放課後等の支援



近藤 幸子議員



現在の防犯灯＝中津六倉地内

県内の取組状況 踏まえ今後検討

近藤議員「近年、犯罪の様相や悪質化が進み、防犯に対する意識も高まっています。奈良県では青色防犯灯の導入により、犯罪発生的大幅な減少が報告され、全国の多くの自治体で試行し始めています。夜間の防犯対策を伺います。」

山田町長「年々、防犯灯の新設や照度をアップし、充実に努めているところではありますが、また、防犯パトロールや自主的な活動により効果が出てきていると認識しています。青色防犯灯の導入については、厚木警察署との協議や県内の取組み状況・効果について、今後研究したいと考えます。他の質問事項なし」

青色防犯灯で犯罪抑止効果

山田町長「県の「消防広域化推進計画（素案）」が発表され、本町は秦野市・伊勢原市・厚木市・清川村と同じブロックで3市1町1村で構成されています。広域化に当たり、最も重要で優先すべきことは、住民の生命・財産を守るうえで消防力の低下をさせないことであり、今後、同一ブロック内において、消防本部機能や指令業務などの協

市町村の動向注視 慎重に対応

鈴木議員「県から広域化計画の素案が発表され、平成24年度末に実現をするとの報告がされました。町の考え方を伺います。」

県の消防広域化計画 本町の考えは



鈴木 一之議員

山田町長「条例施行以後適用申請中の企業については、2社となっています。これから2社に対する固定資産税等の軽減額については、本年1月1日の評価基準における評価が進められており、

条例適用企業 2社申請中

「企業誘致条例」 制定後の取り組みと効果

鈴木議員「企業誘致条例制定後における、取り組みと効果について伺います。」

課税額は決定していませんが、試算では、単年度で、700万円程度の減額と推計しております。

また、効果については、町固定資産税の軽減は経費負担の減少につながり、減額分を設備投資等への有効活用したいとの話もあり奨励措置は企業の発展に十分寄与するものと考えます。他の質問事項①渋滞緩和と歩行者の安全対策

議を行っていくこととなっています。

今後の広域化に向けては、

各市町村の動向を注視しながら慎重に対応したいと考えています。



平成17年3月完成の新消防庁舎

野外照明灯の電気料 削減の具体策



井出 一己議員

井出議員「定額の電気料金支払いを年間一括払いにすると、経費節減になります。その考えと、野外照明灯の電気料削減のための具体的な施策について伺います。」

新年度より年間 一括払い制度適用

山田町長「月払いより、年間一括払いの方が、道路照明灯で、月額2,460円、防犯灯で月額43,000円の割安になり、年間合計54万5,520円の削減になります。このため新年度より、年間一括払い制度を適用したいと考えます。」

電気料削減の施策については、自動占減器やタイマー

の併用に努め今後も省エネタイプの機器選定をするなど節電に努めます。



桜台・小沢線に設置されている道路照明灯

「認定されない障害者」

障害者支援の充実

井出議員「障害者認定されない障害に、臭覚障害や味覚障害があり、このような方で、多くの人と積極的に関わっていききたいと希望されています。」

害を「制度のはざまの障害」として捉えています。人権への配慮や特性を正しく把握することが必要になります。

現在、対象者の把握がされていないことから、今後、障害者への理解促進に努めます。

岡本民生部長「提案については、良いことだと思いますが、今後の研究課題として、他の質問事項なし」

障害者への理解 促進に努めます

促進に努めます

山田町長「認定されない障害

人口増加対策の 考え



鳥羽 清議員

鳥羽議員「人口増加対策の考え方について伺います。」

施策の積極的展開 必要不可欠と認識

山田町長「人口増加施策の基本は、人口の自然増と社会減を抑え、転入者を増やすことであり、具体的には、小児医療費個人負担分の全額助成を小学校4年生までに拡大することや、妊婦健康診査の公費負担を2回から5回に拡大し経済的負担の軽減に一層努めます。」

全国的にも人口減少が進んでいる中、活力あるまちづくりを進めるためには、人口増加に関する施策を積極的に展開していくことは必要不可欠と認識しており、

必要不可欠と認識しており、

今後も引き続き施策の研究と実施に向けて行きたいと考えます。

自殺防止対策の取り組み

鳥羽議員「自殺は、個人の意思や選択の結果ではなくさまざまな悩みにより、心理的に追い詰められた末の死であり、世界保健機関は自殺は防ぐことができる社会問題と明言しています。」

そこで、本町の自殺を防ぐ取り組みを伺います。

各課の連携を 図り対策を研究

山田町長「自殺対策は、社会的な取り組みとして、実

施しなければならぬことや、対策についても、地域の実情に合ったものが必要であり、一部の部署にとらわれるのではなく、庁内を挙げて取り組む必要があります。庁内において、連絡会の設置などについての検討をし、自殺対策に係る情報の共有を図るとともに、各課の連携を図りながら対策を研究したいと考えます。他の質問事項①新しい交通システム



山田町長「新年度は、畜産経営者を対象に、微生物消臭剤の購入助成事業を実施し、また、将来に向かっての手立てとして、畜産経営に対する町の指導指針と指導要綱を定めます。内容としては、悪臭防止策、水質汚濁防止対策、指導体制、協定の締結、住民への説明立ち入り検査、町の助成措置等について検討し、県と現在協議中です。できるだ

指針・要綱定める

小林議員「臭気問題は今後予想され、周辺住民の懸念であり、町としてどのような対策を考えているか伺います。

養豚場建設問題 今後の臭気対策



小林 敬子議員

新たな分別の検討

山田町長「資源化率の向上



持ち込みされたゴミを分別する作業員
＝美化プラント

「ごみの減量化」 燃やさない取り組み

け早期に制定をして、指導の徹底に努めていきます。

小林議員「焼却場に持ち込むごみの量が少なければ少ないだけ、焼却処分費が少なくなり、温暖化防止の観点からでもできるだけ燃やさない取り組みが必要です。

には、効果的な資源回収の方法や回収品目の拡大も必要と考えます。
現在、厚木市、清川村とのごみ処理広域化を進める中で、資源化の品目・収集方法など、慎重に協議・調整を図りながら、剪定枝や廃食油、廃プラスチックについても検討します。

他の質問事項①農地の活性化

循環バスの再編 路線バス乗継ぎは



山中 正樹議員

山中議員「ルートと乗継ぎ、バスマップの発行、新車両の福祉対応について伺います。

バスマップ作成 車椅子の乗車可能

山田町長「不便な地域で、半原旧県警グラウンド前や久保市之田線を運行。中津方面は、下谷・中津往還・半縄・桜台五差路・桜台団地で折返すルートと、大塚の桜台小沢線・下六倉・小沢坂を廻るルートです。
乗継ぎは、田代半僧坊前諏訪東、上六倉、いなげや付近、中津、桜台、工業団地西1丁目等をポイントとして停留所の設置を検討します。

「新省庁発足」 「これからの観光施策

斎藤企画政策課長「路線バス系統図やルートを入れたバスマップをつくり、住民の皆さんにお配りします。

ワンボックスは車椅子の乗車が可能です。



ルート再編で運行が予定されている
中津往環＝古民家山十郎先

山中議員「国の新たな省庁設置の動向と町の取組み、あいかわ公園来園者・交通アクセスについて伺います。

が高まり、本町では、まずは近隣からの誘致に努めつつ外国人旅行者の受入れを図ります。

今秋に観光庁設置 財団がシャトルバス

山田町長「国では観光基本法を43年ぶりに改正し、観光国推進基本法が施行されました。国際観光、地域観光振興などのため、今年秋に観光庁を設置予定です。
エコツーリズムへの意識

小島商工観光課長「あいかわ公園来園者は26万5千人で、前年比10万人増です。
山田町長「宮ヶ瀬ダム財団ではシャトルバス運行を検討中で、停留所は3拠点と川北の愛川大橋、旧県警グラウンドの5か所です。
他の質問事項なし

行政改革の推進 成果と今後の展開



熊澤 俊治議員

熊澤議員「現在、行政改革大綱第3次改定版に基づき行政改革の推進を図っていますが、近年の成果と今後の展開について伺います。」

効果1860万円 第4次改定版策定

山田町長「事業の改革では、行政評価制度外部評価のあり方、施設の改革では中津公民館の原則無休化、サービスの改革では、転入・転出などを行う、休日窓口業務の開設や、人の改革では、農業生産嘱託員制度の廃止、財政の改革では、事業系一般廃棄物の手数料改定などであり、歳出削減と歳入増を合わせた効果額の試算は約1,860万円です。」



行政改革大綱第3次改訂版

今後の展開は、新年度において、第4次改定版の策定に着手し、民間企業の斬新なノウハウやアイデア等を取り入れるとともに、住民皆さんの意見をお聞きしながら策定作業を進めたいと考えます。

現在の入札・契約状況

熊澤議員「入札・契約にも運営を含め、一般的に一長一短があると思いますが、現在の入札・契約状況について伺います。」

指名競争が大半 適正・公平な執行

山田町長「入札執行については、指名競争入札が大半であり、一般競争入札による方式では、競争性が高い反面、不良不適格業者が混入

する可能性が大きいなどのデメリットも多くあります。入札制度については、入札・契約行為の対象となる案件は、様々な内容を含んでおり、これらを一括した制度を運用することは難しい一面があることも事実であります。今後も、県自治体の状況を参考にし、適正かつ公平な入札執行に努めたいと考えます。他の質問事項①本町の将来都市像

会 派 代 表 質 問

ここが聞きたい！そこが知りたい！

平成20年第1回定例会から、議会改革の一環として町長施政方針を含む条例・予算議案を「会派代表質問」により実施しました。

あいかわクラブ

(馬場 司議員)

馬場議員「地方財政において、地方の役割に見合った税財源の確保について

山田町長「地方分権改革の目標は、中央集権型のシステムからの転換を図ること

で、高齢者や障害者の福祉、子育てや教育、まちづくりなど、人々の暮らしを支える公共サービスに関する地方の役割をより拡大し、住民が安全・安心に暮らせる豊かな社会を実現すること

にあります。そのためには、国税と地方税の税源配分をまずは5対5とするなど、地方税源の充実強化が必要であり、その際には税源の偏在性が少なく、税収の安定性を備えた地方税体系を構築することが必要であると認識しています。町独自の財源確保に努めることはもとより第2期分権改革の実現に向けて町村会と地方6団体との連携を強めながら、国に要請をしたいと考えます。

馬場議員「(仮称)愛川病院の早期完成が望まれています。原田高騰により建築資材にまで価格の上昇が

波及しています。21年4月の開院に当たり、予算の上からも病院建設の工程などが心配されますが、進捗状況について

山田町長「厚木北部病院では、新病院建設に向け、昨年11月29日に第1期工事に着手しており、建物本体の工事についても既に業者が決定をし、この3月に予定されている病院開設許可をもって、本年4月から本格的な工事に着手すると伺っています。平成21年4月オープンを目指し、予定どおり工事が進んでいると伺っています。」

馬場議員「町民みなスポーツの町宣言」が20周年を迎える20年度の記念イベントに町内出身の一流選手を招待し、町の内外に広くPRするよい機会と思うが、その考えについて

山田町長「今回の記念イベントでの本町出身スポーツ選手の招待については、いわゆる競技種目、競技性、日程調整など、なかなか現状では難しい面があります。しかし、そうしたことも念

頭に、具体的な実施方法については体育協会等の意見も伺いながら検討したいと考えます。

他の質問事項①子育て支援

愛政クラブ

(小倉 英嗣 議員)

小倉議員 20年度予算編成に当たり、各課の予算要望に対し、認められなかった事業について

山田町長 一般会計の各課からの予算要求は、134億3,000万円で、歳入見積額を12億5,000万円超過したことから、事業の内容を十分精査、優先度緊急度を考慮し、重点かつ効率的な予算配分を行い、5億2,700万円ほどの調整をし、要求額の96.1%に当たる129億300万円としたもので、認められなかった事業は、全体で21事業あり、主な事業は、第1号公園テニスコート改修事業、中津第二小学校校舎外壁改修工事などです。

小倉議員 地方財政について国税収入や地方税収入が鈍化すると判断された理由について

山田町長 国税収入及び地方税収入の伸びの鈍化につ

②女性消防職員採用③幣山下平線進捗状況④美化プラント連続運転⑤観光振興⑥町民アイデアまちづくり事業

いては、国税収入の平成20年度の対前年度伸び率が0.2%の微増であり、平成19年度の対前年度伸び率が、16.5%であったことから、大きく下回っております。地方財政計画における都道府県税、市町村民税を合わせた地方税収入全体の平成20年度の対前年度伸び率も0.2%の微増であり、平成19年度対前年度伸び率が15.7%で、大きく下回っていることから、鈍化しているとの表現になったものです。

小倉議員 庁舎の耐震診断において、20年度予算に、計上していない理由について

山田町長 本庁舎の耐震については、平成18年に本庁舎耐震対策研究会を設置し、これまで8回の研究会を開催し、研究会では、耐震診断などの調査結果の分析などをを行い、現在、既存庁舎のバリアフリー対策などの

あすか

(小島総一郎 議員)

小島議員 国道・県道整備事業の取り組みについて

山田町長 国道412号線では、歩道整備も含め交差点の改良ということで、田代・平山坂下交差点の事業を進めていただいております。県道63号の相模原・大磯線では、坂本坂の道路改良事業の整備が進められております。県道54号の田代交差点付近から関場坂交差点までの歩道の未整備箇所については、歩行者の安全確保を図るため詳細な用地の測量建物調査を実施しました。

県道54号の馬渡橋架替事業については、橋りよう付近の土地所有者の境界が不明な箇所や所有者と利用者が異なるなど、境界確定が大変困難であることが、事業化の促進を阻む大きな要因の1つであります。本年

ないものと考えています。

他の質問事項①予算重点配分②町債借換③第6回線引き見直し④ごみ減量化促進⑤農林業振興対策⑥里山づくり事業⑦観光振興⑧水源環境税

度、県と町で関係地権者の方々と協議を重ね、境界確定方法について、基本的合意が得られたところであり、今後、事業の進捗に向け県とともに努力をしていきます。

小島議員 県の工芸工房村について町の係わりと温泉施設の考え方について

山田町長 工芸工房村については、染め物や機織り、木工、陶芸、和紙等の工房を配置する予定であり、また、多くの来園者が快適な時間を過ごせるように、軽食コーナーも併設をされます。今後の施設運営については、県及びあいかわ公園の指定管理者である宮ヶ瀬ダム周辺振興財団と協議連携を密にしたいと考えます。また、温泉施設については、莫大な整備費用を賄

うための国や県などの補助金の財源確保が非常に困難であることから、引き続き、慎重に研究をしていきたいと考えます。

小島議員 補助金の見直しにおいて、判断基準と予算反映分について

山田町長 評価基準は、補助効果が上がっているものや施策上必要な補助金は現状維持とし、交付団体の毎年度の繰越金額や積立金が補助金額を大幅に上回っている場合など、補助効果や補助金の意義が低下しているものは、縮小をし、団体の活動実績から判断して、既に自立が認められるもの

民主みらい

(熊坂 徹 議員)

熊坂徹議員 格差社会について

山田町長 現在、国レベルで問題視されている格差社会の例は雇用形態の格差であり、具体的には、収入の格差、社会保障の格差、雇用安定の格差などであり、正規の職員とパートタイマーや派遣社員、契約社員などの非正規雇用労働者との格差ではないかと思えます。この問題については、国レ

は、廃止という判断基準を設けて実施したものです。評価の結果に基づく新年度予算の反映分は、廃止すべき補助金、縮小すべき補助金、統合縮小すべき補助金の合計で28件。削減効果額は、589万6,000円です。

他の質問事項①予算配分②道路特定財源③第6回線引き見直し④リバーフレックス構想⑤美化プラント連続運転⑥感染症予防対策⑦温暖化防止⑧郷土資料館⑨学校給食調理業務⑩有害鳥獣対策⑪広聴事業⑫役場本庁舎耐震強度不足

ベルでの非正規労働者の待遇改善の取り組みが望まれるところであり、本町では住民生活に直結する施策事業の充実を図り、総合計画の実現に向けて努力しています。

熊坂徹議員 町民負担について

山田町長 税制改正による町民負担増への対応については、低所得者などへの配慮として、生活保護世帯等

への水道料金の助成、要保護・準要保護、児童就学援助費や児童手当の支給さらには、県の福祉医療費助成制度見直しへの対応として、重度障害者医療費助成事業ひとり親等医療費助成事業や小児医療費助成事業について対象者の負担増とならないよう、県の補助対象外となる医療費を町が負担しています。今後も引き続き、低所得者や子育て世帯、高齢者など町民皆さんに対する町独自の施策の充実に努めたいと考えています。

熊坂徹議員▶参加協働の視点を取り入れた事業を組み立てる上での参加協働の工夫などについて

山田町長▶新たな参加協働の視点を取り入れたものについてであります。町のホームページのリニューアルにつきましては、既に実施をしております。さらに、情報共有や参加協働の施策展開の中で研究したいと考えます。

新年度以降に参加協働の

共 産 党

(井上 博明 議員)

井上議員▶広域ごみ処理施設整備事業では、中間処理

施設候補地が定つてなく、金田の処理施設を組合が引

視点から工夫をしたものは町内 6 箇所の放課後児童クラブに民生委員児童委員、青少年指導員、保護者の代表、児童クラブの指導員さんなどで構成する運営委員会を組織し、地域に密着したより多くのご意見を取り入れながら、地域の特性を生かした児童クラブの運営を目指していくことです。

また、各種のスポーツ・レクリエーションイベントを実施するに当たり体育協会などが主体となり、種目の企画立案から実施までを担っていただく方式としており、施策、事業の内容を十分見極め、参加協働による事業展開が一層浸透するよう、各課の職員の意識啓発も図りながら、一步一步着実に進めたいと考えます。他の質問事項①環境に対する意識②個別事業③自治体間競争④消防の広域化

き受け運営することも選択肢の一つではないかという提案を組合議会でしました。構成市町村との協議の取り組みについて

山田町長▶当初計画していた平成 24 年度からの組合として中間処理施設を稼働することが困難な状況になり、構成市町村の施設の状況などを考慮し、新しい中間処理施設が建設されるまでは、厚木市金田の環境センターを利用し、広域処理ができるように、厚木市が施設の調査をされ、その結果について、厚木市、愛川町、清川村及び環境施設組合が今後協議を重ね、平成 24 年度からは、金田の環境センターでの広域処理を開始する方向で検討をしていくのとことです。

井上議員▶消防の広域化の考え方について

山田町長▶本町の常備消防も 32 年の歩みを経て、町民を災害からの守り手として地域に根ざした前進をしており、県下でも立派な消防団として、活動をしていただいています。

こうしたことから、本町では差し迫った大きな問題

公 明 党

(森川 絹枝 議員)

森川議員▶今後の財政運営の課題について

山田町長▶今後、堅実で健全な財政運営を進めていくためには歳入面で、将来に備えた基金への積み立て、後年度負担に配慮した町債の活用、使用料や手数料の見直しなど、受益者負担の適正化を進めることが大事であると認識しています。

歳出面では、町民参加による行政改革の積極的な推進を図り、行政評価に基づく事務事業の見直しや経常的経費の削減に取り組む、また、財政指標となる自主財源比率、義務的経費比率、公債費比率等を常に注視し、財政運営を行っております。

森川議員▶協働型社会の実現に向けた取り組みについて

山田町長▶協働型社会の実現に向けた取り組みの推進については、自治基本条例に基づく審議会などの会議の公開や委員の公募制度パブリックコメント手続など各種制度の適正な運用を図っています。本町に住み、また働き、学ぶ多くの方々

ともに役割と責任を分かち合いながら相互に、連携協力し合える協働型社会の実現を目指したいと考えます。森川議員▶行政運営を運営から経営への考え方について

山田町長▶行政経営の考え方については、町民皆さんに必要な行政サービスを的確に提供していくため、NPM(ニュー・パブリック・マネジメント)と呼ばれる行政経営の手法を取り入れる自治体もあります。NPMの考え方は、行政運営を管理の視点から経営の視点に展開し、民間の優れた経営理念、経営手法を取り入れながら、住民満足度が向上するよう住民の視点に立ち、成果を重視した行政活動を展開するものです。こうした新たな行政経営の考え方を新行政改革大綱にも少しずつ取り入れながら、成果重視の行政経営を目指した取り組みを進めていく必要があると考えます。他の質問事項①子育て支援の推進

討

論

反対

民生みらい 近藤 幸子 議員

会派民生みらいを代表し、平成20年度一般会計予算に反対の討論をします。

歳入については、町税全体では前年の82億2,700万円を上回る83億8,700万円の税収が見込まれ

これは、平成18年度から始まった年金控除の縮小、老年者控除の廃止、定率減税の廃止なども含めた税制改正に伴う町民税の増、また、

家屋の増加など固定資産税の増収など、個人の負担増による税収の伸びであり、納税者からすると、年金生

活者など、所得は増えないのに税金が増え、生活が苦しくなっているという現状があることを認識する必要があります。

新年度予算では、子育て支援の事業について、今回評価すべきところがあり、中津保育園のほかに田代保育園でも一時保育事業を開設することは、育児疲れのお母さんたちにとっては朗報であり、

また、前年の討論の中で民生みらいが提案した「こんにち

は赤ちゃん事業」が、本町でも実施されることになりました。乳児の子育ての不安を抱えているお母さんたちにとって適切な支援を行えるように要望します。

小児医療費では、10月から小学校4年生まで医療費の無料化拡大は、迅速な対応だと思っています。

また、一貫して反対してきました事業、郷土資料館建設事業では、町民にはまだ資料館建設に対して広く理解を得られていないと感じています。建設の意義とPRについての質疑があり、

明快な答弁を期待しましたが、結果は、非常に残念でした。我が会派は、きちんと将来的なスパンも考えた上での郷土資料館を語れないのなら、事業には賛成できません。



活発な意見

賛成

あいかわクラブ 成瀬 和治 議員

あいかわクラブを代表し、賛成の立場で討論します。

愛川町在宅障害者福祉手当条例は、支給範囲を、以前2級までを3級まで拡大し、1級の方には2万円から3万5,000円に増額するなど、手当の充実を図るための改正をするもので適正です。

平成20年度一般会計予算では、歳入の町税が、前年度比1.9%の微増となっており

ますが、納税者に対し、不公平感を抱かせないよう滞納者に対し徴収努力をしていただき、徴収率のアップと滞納繰り越しの縮減に最大限の努力をお願いします。

総務費の生活交通安全対策では、総合交通計画に基づき、循環バスについては、本年10月よりワンボックスタイプの車両を1台増車し2台で運行することになり

運行本数も増やし、運行ルートも町民のニーズに合うよう再編成の予定がされています。町民の生活交通が確保され、喜ばしいことであ

り、以前からルートの変更や増便について要望が多く寄せられており、これらに対応され、受益者負担の観点から100円の有料化について理解します。

土木費では、幣山・下平線新設工事は、半原・田代地区の住民にとっては長年の要望であり、1日も早く完成するよう関係者の一層の努力をお願いします。

また、生活道路の整備については、バリアフリーなどの安全対策等を、今後とも積極的な取り組みをお願いします。

以上、条例をはじめ、新年度予算編成に取り組みまれた担当職員に心から感謝します。



賛成

愛政クラブ 熊坂 弘久 議員

愛政クラブを代表し賛成の立場から討論します。

愛川町職場の育児休業に関する条例は、育児を行う職員の職場生活と家庭生活の両立を一層容易にするための環境整備であり、職務を完全に離れることなく、育児のための短時間勤務を行うことができる条例の改正であり、賛成します。

安心・安全まちづくり対策事業については、防犯灯の新設やレベルアップなども引き続き実施され、また、新たに、各行政区に防犯パトロール用品の配布補助事業など、町民要望に即応した事業にも取り組まれたことは、町民皆様から大変喜ばれており、さらに、地球温暖化対策、二酸化炭素削減のために、町塵芥収集車にハイブリッド車を導入され、行政として率先垂範されたことは、大いに評価します。

水道事業会計予算について、今年度の給水戸数は1万520戸、細野、志田、

戸倉等の浄水配水場の防災対策事業、水道施設改善事業、配水管整備改良事業など推進され、安全でおいしい貴重な水を供給するもので、賛成します。

改めて1つ要望をさせていただきますが、行政改革手法として、愛知県高浜市は、高浜市総合サービス株式会社を平成7年に設立し、大幅な業務委託を行い、当初39%であった人件費比率を24%まで圧縮し、その財政効果は平成19年度で3億9,400万円であり、本町としても、この発想を早期に具現化し、(仮称)愛川町総合サービス株式会社を設立するか、または、支援センター、シルバー人材センターの事業拡大を図り、行財政改革に取り組むことを要望します。



賛成

あすか 山中 正樹 議員

あすかを代表し、賛成の立場で討論します。

町民相談経費の、交通事故相談、不動産相談など生活上の悩みなどの相談と、アドバイスをを行う業務や、増加する外国籍住民への相談業務であり、適切です。

特に、外国籍住民相談は大変な業務量となっており、週5日体制とされたことは評価します。

民生費の重度心身障害者移送サービス事業費は、移動困難者へのサービスであり、必要な事業です。来年度4月当初から国土交通省の許可を得ていたNPOの移送サービスが廃止され、直接不便を強いられる住民が発生します。また、年々高齢化社会に移行する中で移送サービスの需要自体も増加しており、対象者の拡大など、今後の方向性を柔軟に考えていくよう要望します。

土木費の都市計画総務費は、新規事業で市街化区域等変更図書作成業務委託費

が計上されています。これは、第6回都市計画線引き見直しにより、市街化区域のうち環境を保全すべき地域を市街化調整区域に変更する、逆線引きを行うためのものです。整備、開発と保全はバランスを持つて行うべきものであり、今回対象となっている中津六倉のがけの地域は風致地区にも指定され、自然環境を守るべき大切な場所であることから、乱開発防止のために適切です。

今後は、半原台地の用途見直しや本庁舎周辺の将来についての総合的な都市計画、都市構想にも本格的に着手されることを望みます。



賛成

共産党 井上 博明 議員

日本共産党を代表し賛成討論をします。

財政運営の面については、借金も減らし、しっかりと貯金も蓄えながら堅実な予算とします。ゆえに、わくわくどきどき、まちづくりへの希望と夢を持たせる政策的なまちづくりという部分では乏しい部分があると思います。

20年度から電子入札が本格的に実施されます。公共工事、業務委託の入札参加評価という部分では、企業の子育て支援の取り組み、また、障害者雇用の取り組み、さらに、環境に配慮した経営の取り組み等を資格評価として取り入れるよう要請します。

子育て支援対策の投資は未来への投資であります。所得制限なし、一部負担なしで小学4年生までの医療費の無料化、妊婦健診助成を2回から5回までの拡大、田代保育園での一時保育の実施など、大いに評価をします。

子育て支援対策の投資は未来への投資であります。所得制限なし、一部負担なしで小学4年生までの医療費の無料化、妊婦健診助成を2回から5回までの拡大、田代保育園での一時保育の実施など、大いに評価をします。

農林業では、畜産環境改善対策で、微生物消臭剤の購入費助成が行われ、評価します。既にこの消臭剤を使って養豚、酪農家等が活用して効果が出ており、今回の助成措置で臭気改善が図られることを大いに期待をします。

新年度は、緊急地震速報の情報伝達、従前から課題でありました難聴地域の解消に取り組みがされ、評価します。

中学校給食については、児童・生徒、保護者、一般町民に行いましたアンケートの結果がまとまり、その結果、中学校完全給食を望む声が多かったわけであり、今後、答申も町長に出されると思います。真摯にこうした客観的な評価を受け止めていただき、中学校給食の早期実施に取り組んでいただきたいと思ひます。

子育て支援対策の投資は未来への投資であります。所得制限なし、一部負担なしで小学4年生までの医療費の無料化、妊婦健診助成を2回から5回までの拡大、田代保育園での一時保育の実施など、大いに評価をします。

賛成

公明党 井出 一己 議員

公明党を代表し賛成の立場で討論します。

愛川町国民健康保険税条例は、国保会計の実情を見直し、今回の一部改正では、資産割を廃止し、賦課方法を見直すものであり、適正と認めます。しかし、今年度徴収漏れの事態が長年にわたり見過ごされてきたことが発覚し、今後の行政執行には、町民の血税を預かる立場を自覚され、行政運営を行っていただきたいと思います。

歳入については、町民税固定資産税は増加するものの、経済情勢の急激な悪化に法人町民税の伸びが期待されない中でありながらも、良好な財源確保ができたものと認めます。

農林水産業費では、有害鳥獣による農作物への被害が増える中、電気柵の新増設や猿の移動監視等の被害防止の取り組みであり、賛成です。

商工費では、商工団体では新規ビジネス創造支援事

業をはじめ、商店会の助成や中小企業への貸付支援に對して期待します。

消防費では、高規格救急車の更新がされ、応急手当ての普及推進に努めるなど、救急の高度化対策に期待します。また、全国瞬時警報システムの接続は、防犯対策の強化につながるものであり、期待します。

教育費では、文化振興による新郷土資料館建設は、郷土資料の収蔵と町の歴史自然に関する情報発信の拠点として建設されるものであり、町の文化振興につながるものと期待します。



3月定例会 議会だより・議会に関する傍聴者アンケートの結果

平成20年3月議会定例会の傍聴にお越しの35人の方々に「議会だよりあいかわ」について、アンケートをお願いし、次のような結果が得られました。

今後、アンケート結果をもとに「議会だより」の内容や紙面などを改善し、さらに町民の方々に親しまれる広報として充実を図っていきます。

【議会だより」を読んだことがありますか】

①毎回読んでいる 25人
②時々読んでいる 5人
③たまにしか読まない 0人
④全く読まない 0人
⑤無回答 5人

【全部の記事を読んでいきますか】

①ほぼ全て 25人
②一部だけ 2人

【最も関心がある記事はなんですか】※複数回答あり

①可決議案の内容 8人
②一般質問 17人
③総括質疑 3人
④討論 3人
⑤町民の声 12人
⑥その他 0人

【紙面のレイアウト(構成)については】

①読みやすい 10人

②普通 19人

③読みづらい 0人

【掲載してほしい内容】
・各議員の日常の行政に対する調査方法や調査に関する日程等
・議会だよりの発行を早く

主な傍聴者の声

・町づくりの為に熱意とパワーと真剣さが伝わった。
・議会中の傍聴者の途中入場が騒がしかった。
・答弁が少し長い、もう少し簡素化し分かりやすいほうが良い。

・質問する議員さんも良く整理してからの質問が必要だと思う。

・一般質問の最初の答弁は、書面での答えだが、その後の質問の方が一問一答で生を感じた。

・言葉がはつきり聞こえる方とよく聞き取れない方もいる。

・大変勉強になった。
・マイクの音量を少し上げてほしい。

・町職員は普段どのような仕事をしているか分からなかったが、常に町のことを考え、町を支えていることが分かった。

・住宅用火災報知器の各家庭に設置する話はとても良いことだと思う。

・傍聴席が少なく、入れない人がいたので拡張することは出来ないか。

・時間厳守で議場に入って、私語が多いので気をつけてほしい。

・質疑応答は大変分かりやすかった。

・質問内容に対し、答弁時間が長い。

・質問の時間が少なくなり、議論の内容がとぼしくなる。

・精神障害者の福祉手当について、1級と3級が増額されたことに感謝する。

・医療費助成について、前向きな姿勢に期待します。

・質問事項が多いため、1時間の限られた時間では、十分な質疑が出来ない場面が見受けられた。

・議場の時計が見にくい。

傍聴の お知らせ

6 月定例会は下表のとおりです。本会議はいずれも午前 9 時から開会されます。また、本定例会の運営を協賛する議会運営委員会は、5 月 23 日(金)に開催予定です。

平成20年第2回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
6	2	月	本会議 (提出議案の説明)
	5	木	本会議 (一般質問)
	6	金	本会議 (一般質問)
	10	火	総務建設常任委員会、教育民生常任委員会
	13	金	本会議(総括質疑・討論・採決)
	16	月	(予備日)

陳情・請願の締切日は 5 月 16 日(金)になります。日程が変更になる場合もありますので、詳しくは議事

議 会 事 務 局 職 員 人 事 異 動 4 月 1 日 付

(新) 議会事務局副主幹
八木 明子
(健康長寿課副主幹)
(旧) 行政推進課主査
齋藤 智美
(議会事務局主任主事)

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。なお、3 月定例会の会議録は、6 月中には備え付けができる予定です。

会議録設置施設

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

【おわびと訂正】

前号 116 号 6 ページの熊坂徹議員の一般質問で掲載しました写真の説明に、誤りがありましたので、訂正して、おわびいたします。
(誤) かえでの家
(正) ひまわりの家

町民の声

故 郷

望月 一美 さん

(中津在住)



愛川町に移り住んで四十余年、サラリーマン時代に感じ得なかったこの町の良さを、今、体で実感している。

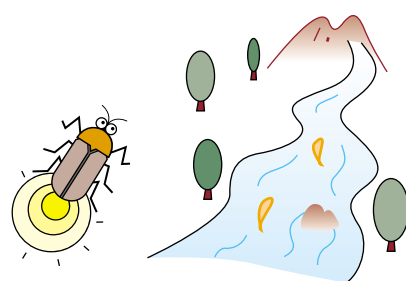
朝、窓を開けると自然の空気の美味しい事、八菅山の木々の色で四季を感じ、我が家の山茶花の木にはめじろが、枝に刺したりんごを啄ばみ、すずめが手作りの餌箱に群がり、見ているだけで楽しい気分である。

毎日、愛犬と山へ川へと散歩に行き、自然を満喫している。

両親が亡き、今、私の故郷は、この町だと決めた。毎日、散歩していると人との出会いがあり、人生の勉強をする事もできる。

ただ、残念な事は、道端にごみの多い事、犬のフンは飼い主が自己責任で始末しよう。当たり前のことだが私は実行している。

故郷は美しい町であって欲しいと願っているからだ。田舎はいやだと言って都会で暮らしている我が息子と娘、何故か正月には八菅山に初詣に来るこの町の良さが分かってきたのかな？ いずれ二人にとってもこの



町が故郷と思ってくれるに違いない。

さあ、今日も愛犬と一緒にこの町の良さをいっぱい探して歩こう。

編集後記

新年度を迎え 1 カ月半が経過し、新しい門出を迎えた新入生や新社会人の皆さんは新しい環境に慣れたことと思います。

さて、3 月定例会では、愛川町議会初の会派代表質問を行い、施政方針を含む条例・新年度予算など各議案に対して質問を行い活発な議論を展開しました。

今後も、町議会と町政を分かりやすく正確に、住民の皆様へお伝えできるよう議会だよりの編集に努力をしてまいります。

議会だより編集委員会
委員長 馬場 司
副委員長 近藤 幸子
委員 渡辺 基
委員 熊坂 弘久
委員 井出 一己
委員 成瀬 和治
委員 小島総一郎
委員 鳥羽 清
委員 小林 敬子